

日本三大地金のひとつ
出雲なんきん

いづもなんきん
出雲南京は、日本固有の
金魚として、西暦1750年
ごろより、島根県の旧出
雲地方で飼育されてい
たと伝えられています。松
江藩の城下で飼育が盛
んで育った事や、茶道の
侘・寂の精神が取り入れ
られている事から、松平
不昧(不昧公)も愛玩し
たともいわれています。

「いづもナンキンに就いて」より



いづもナンキン(品評会平成26年)
(原魚の部)産養秀魚
門監真 作出
口紅・目赤・背吹(尚徳3代に紅)
飛び魚の子

清楚で気品が求められ、特に色彩に見られる制約の厳しさなどは、まさに不昧公が茶道具に求めた芸術性に共通するものがあります。その精神は出雲人気質が大変受け入れ易いものであったかもしれません。

昭和55年10月21日
「いづもナンキン」として、
島根県教育委員会に、
島根県文化財(天然記念物)の
指定を受ける。

島根県 出雲南京の
主な故郷



SHIMANE BRAND
出雲なんきん
izumo nankin 島根県指定天然記念物金魚



Shinbi
島根県松江竹天町1299
〒690-0023

侘・寂
を
入
れ
込
ん
だ。
なんきん
は、江戸時代
に、
出雲
に
備
え
た
金
魚

